

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-512893(P2004-512893A)

【公表日】平成16年4月30日(2004.4.30)

【年通号数】公開・登録公報2004-017

【出願番号】特願2002-540629(P2002-540629)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 B 17/24

A 6 1 B 17/00

A 6 1 M 29/02

【F I】

A 6 1 B 17/24

A 6 1 B 17/00 3 2 0

A 6 1 M 29/02

【手続補正書】

【提出日】平成16年10月25日(2004.10.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 肺組織セグメントからの気体の閉塞および放出のためのデバイスであって、

肺経路内において展開可能である、膨張可能な構造物と、

該構造物を通る一方の方向において気流を遮断し、かつ、該構造物を通る他方の方向において気流を許容する、該膨張可能な構造物上の弁と、

吸引カテーテルに選択的に連結するためのポートと、
を備える、デバイス。

【請求項2】 前記弁は、呼気に対して開き、かつ、吸気に対して閉ったままであるように偏っている、請求項1に記載のデバイス。

【請求項3】 前記弁は、吸引カテーテルによって印加される吸引減圧に対して開くように偏っている、請求項1に記載のデバイス。

【請求項4】 前記膨張可能な構造物は、超弾性の、形状記憶のまたはスプリングテンパーされたワイヤを備え、該膨張可能な構造物は自己膨張する、請求項1～3のいずれか1項に記載のデバイス。

【請求項5】 肺組織セグメントへの肺経路を閉塞するためのシステムであって、該システムは：

近位端、遠位端および少なくとも1つのそれらを通る内腔を有するアクセスカテーテルと、

請求項1～4のいずれか1項に記載の閉塞物であって、前記閉塞デバイスは、該アクセスカテーテルによって導入可能である、閉塞物と、

を備える、システム。